

令和2年度 第12回会計実務検定試験  
実施報告及び今後の検定試験について  
(令和2年10月25日実施)

資 料



主 催 公益財団法人全国商業高等学校協会

## 令和2年度（第12回）会計実務検定試験実施報告

1 期 日 令和2年10月25日（日）

2 会 場 46都道府県の試験場校 177校

3 申込者数 6,406名

（内訳：財務諸表分析 3,213名 財務会計 2,030名 管理会計 1,163名）

過去5年間の受験申込者数の推移

単位：名

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
申込者数	6,406	6,837	6,900	6,613	5,469
前年比	-6.3%	-0.9%	+4.3%	+20.9%	-5.5%

4 合格者数 2,979名

（内訳：財務諸表分析 2,201名 財務会計 546名 管理会計 232名）

過去5年間の合格者数の推移

会計実務検定試験（全体）

単位：名

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
合格者数	2,979	3,603	3,992	3,243	2,750
合格率	48.7%	56.1%	60.8%	52.1%	52.6%

(1) 財務諸表分析

単位：名

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
合格者数	2,201	2,370	2,674	2,532	2,176
合格率	71.4%	70.1%	76.1%	72.7%	76.7%

(2) 財務会計

単位：名

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
合格者数	546	851	863	374	449
合格率	28.3%	42.7%	41.2%	19.2%	28.1%

(3) 管理会計

単位：名

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
合格者数	232	382	455	337	125
合格率	20.9%	36.4%	47.5%	42.8%	15.7%

## 5 出題について

本検定の目的は、「現代の金融化された世界に対応できる会計能力を身に付けた人材の育成」としており、このことを踏まえて問題作成をおこなっています。

作問にあたっては、これまでにお寄せいただいた意見を踏まえ、研究部会内において難易度や表現等の調整を図り、外部監修委員の審査を受けて修正を加えながら作問をおこないました。なお、出題範囲については、当協会の定める「会計実務検定試験 試験範囲」にもとづき、学習指導要領に準拠して教科書等に記載のある内容を出題しております。

## 6 検定試験アンケートの回答について

### (1) 財務諸表分析

- 【1】 3は電子記録債権、5は債務超過の定義について誤答が目立ちました。
- 【2】 企業活動の区分について、財務諸表分析として好意的な意見が多かったです。
- 【3】 例年と異なる資料提示方法のため、戸惑った生徒もいるようでした。内容的には破綻前・再生後といった大きな変化を読み取れる資料として好意的に受け止めていただきました。問3については、実際に再生に取り組んだ際の内容を記載しました。結果的には思考力を問うものとなったようです。
- 【4】 問2の資金繰りについては誤答が目立ちました。キャッシュ・フローについては触れる機会が少ない面はあると思いますが、問題一つ一つを丁寧に読み取り、どのような事象が発生するとキャッシュ・フローがどのように変化するのか、また逆の考え方などをとらえてもらえたらと思います。キャッシュ・フローから企業利益の質が見えてくることも多くなっています。
- 【5】 特に意見はありませんでした。時事の内容を取り入れた問題にしております。財務から見てわかりやすいバリュート投資について記載しました。昨年同様「投資の資料」として「財務諸表分析」の知識が活用できることを意識しました。株式投資に関する問題が毎年出題していますが、時流に応じ、出題範囲を鑑みて出題していきたいと思います。

### (2) 財務会計

- 【1】 正誤問題 問題の難易度は適当であるというご意見を多数いただきました。今後も財務会計を学習する上で必要な内容を出題していきます。
- 【2】 仕訳問題 問題の難易度は適当またはやや難しいというご意見を多数いただきました。問4でリース会計について、問5で外貨換算会計について出題しました。両問とも誤答調査の結果、正答できなかった受験生も多かった様です。
- 【3】 計算問題 問題の難易度は適当というご意見を多数いただきました。全体的なバランスを考え、2題の出題としました。問1では純資産について出題しました。純資産に関する取引とそれぞれの金額の変動について理解しているかを問いました。問題文の指示を正しく読み取れず誤答となった受験生もいた様です。今後も難易度や解答形式等を考慮しながら出題していきます。問2では、固定資産の減損について出題しました。減損損失の金額を出せるだけでなく、減損の兆候があるかの判断ができるかという観点から2種類の固定資産について出題しました。
- 【4】 キャッシュ・フロー計算書 問題の難易度は適当であるというご意見を多数いただきました。今回は直接法による出題としました。今後も企業が作成している、キャッシュ・フロー 計算書を参考にして出題していきます。
- 【5】 連結会計 問題の難易度は適当であるというご意見をいただきました。今回は連結損益及び包括利益計算書を出題しました。今後も連結精算表、連結損益及び包括利益計算書、連結貸借対照表の出題をしていきます。

### (3) 管理会計

【2】品質原価計算に関する出題については、品質関連原価を判断させる問題で高レベルであった。というご意見をいただきました。管理会計を学ぶ上で「判断する」能力は重要な能力であると考えております。

【4】直接・実際原価計算に関する出題については、当期製品製造原価や売上原価の金額が間違っている生徒が多くいた。というご意見をいただきました。払出数量の計算は簿記の基礎的な内容であり、原価の構成としての変動費や固定費は原価計算で学ぶ内容でもあります。それらは、管理会計を学ぶ上においても重要な基礎的な内容であると考えており、引き続きご指導をお願いいたします。

【5】業務的意思決定に関する出題については、配点が大きく、ここができなくて合格できない生徒が多くいた。というご意見をいただきました。これまでにいただいたご意見もとに配点の加重や比重を考えてきました。ご意見を参考にさせていただき、今後も研究を重ねていきたいと考えています。

【全体】としまして様々のご意見をいただきました。まず初めに、全体的に作業量が多く、時間内に解き終わらないのではと思う。というご意見につきましては、常に難易度ばかりでなく、作業量についても考慮しながら作問を行っております。今回の結果をもとにしてご指摘を真摯に受け止めて今後の作問において留意していきたいと思っております。次に、一般生徒が対象だと難しい様に感じますが、発展的な勉強をしている生徒が挑戦している検定なので良間だと思っております。というご意見をいただきました。本検定は一部を対象とするものではありません。そのことを念頭に入れながら、授業でおこなってきた学習活動の成果として挑戦できる検定としての立ち位置が築けるよう研究していきたいと思っております。次に、3分野ともパターン化傾向というご意見をいただきました。出題にあたっては、教科書の内容からの出題を心掛けているため、分野的にはご指摘のように感じられるかもしれませんが、過去の出題内容と重複することがないように注意をしながら作問しているつもりです。最後としましては、新型コロナウイルスの影響もあり、範囲を終わらせるのが精一杯。試験日の配慮等があると良かった。というご意見をいただきました。会計研究部としましても学校休業による再開の相違や就職試験日程の変更などがあり、実施にあたって配慮が必要なのではないかということを検討いたしました。しかし、本協会主催全ての検定試験の試験日に関わるため、予定どおりの期日で実施することにしました。ご理解ください。

## 7 令和3年度以降の変更について

令和3年度から一般受験料（¥2,900）を廃止し、高校生受験者と同額（¥1,800）の受験料とします。また、令和2年度（第12回）検定の意見聴取でご提案いただきました、試験問題の表紙に受験番号の記入できる欄を設けます。

本検定は、令和4年度から検定の名称と試験期日を変更します。検定の名称変更につきましては、生徒の進路実現を後押しすることを考慮して外部に対する説明力を強めることが大きな理由となります。ただし、それぞれの検定の出題範囲や内容及び形式等はこれまでのものを維持していきます。よって、プレ検定等の対策はおこないません。

開催期日につきましては、12月第2日曜日に変更します。本検定は、学習指導要領に準拠し、教科書の内容を踏まえて問題を作成しております。そのため、学習を始める時期から学習範囲を網羅できる時間を考えた場合、試験期日の検討についての要望が多くあり、会計研究部内においてその検討を毎年おこなってきました。

また、三種目1級合格者表彰制度に関わることについて会計研究部としましては、これまでにお寄せいただきました皆様の要望等を柱として検討してまいりました。検定の内容等からみつめましても、商業教育を学んできた生徒の習熟度を級で区切って測ることのできないレベルなのではないかと考えています。よって、各検定をその制度の対象とするならば3種類の検定を独立したものとして検討していただけるようにと関係委員会へ具申しました。

各検定の取り扱いについての最終的な回答につきましては、本協会から皆様にお伝えされることかと思います。

#### ◇検定名称の変更（令和4年度～）

検定名称	科目名		検定名称	科目名
会計実務検定	財務諸表分析	→	財務諸表分析検定	—
	財務会計	→	財務会計検定	—
	管理会計	→	管理会計検定	—

#### ◇試験期日の変更（令和4年度～）

毎年 12月第2日曜日（年1回）

## 8 その他

### (1) 全科目合格者

今回の検定において全科目を合格者数は47校159名でした。対象となる合格者については「全科目合格者表彰」となります。新型コロナウイルス等によって厳しい学習環境の中にあったことかと思われそうですが、全ての科目に合格され、本当に素晴らしい成果だと思います。なお、前回の11回検定では58校237名であり、78名の減少でした。

### (2) 本検定に向けた講習会について

全商協会では、現職教員の資質と授業力向上を目的としまして、会計実務に関する講習を毎年、東京と大阪に会場を設けて教員対象に開催してまいりました。しかし、令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染対策に加え、東京オリンピックの開催による影響を考慮してインターネットを利用した同時双方型（テレビ会議方式）での講習会の開催を予定しております。開催期日は7月28日（水）から7月30日（金）を予定しております。是非ともこの機会をご活用いただき、多くの先生方に本検定をご理解いただき、商業を学ぶ生徒の皆様の本検定へチャレンジすることのできる力と機会を与えていただければ幸いです。

今回の報告内容につきまして、試験場校からのご質問等につきましては、お手数ですが本母校にてお取りまとめいただき、全商協会までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

## 令和2年度 第12回会計実務検定試験 全科目合格者表彰一覧表

No	都道府県	学 校 名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
1	北海道	北海道札幌東商業高等学校	1	6
2		北海道有朋高等学校	1	
3		北海道函館商業高等学校	3	
4		北海道岩見沢緑陵高等学校	1	
5	宮城	仙台市立仙台商業高等学校	2	2
6	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	1	2
7		秋田県立大館国際情報学院高等学校	1	
8	福島	福島県立郡山商業高等学校	1	3
9		福島県立若松商業高等学校	2	
10	茨城	茨城県立古河第一高等学校	1	1
11	栃木	栃木県立宇都宮商業高等学校	10	14
12		栃木県立栃木商業高等学校	4	
13	群馬	群馬県立伊勢崎商業高等学校	1	1
14	千葉	千葉県立千葉商業高等学校	1	4
15		千葉県立流山高等学校	3	
16	山梨	甲府市立甲府商業高等学校	1	1
17	東京	東京都立第三商業高等学校	1	1
18	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	2	2
19	富山	富山県立富山商業高等学校	1	1
20	石川	石川県立小松商業高等学校	3	3
21	静岡	静岡県立浜松商業高等学校	3	5
22		城南静岡高等学校	2	

No	都道府県	学 校 名	表彰者数			
			学校別	都道府県別		
23	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	10	31		
24		愛知県立一宮商業高等学校	1			
25		愛知県立岩倉総合高等学校	2			
26		愛知県立半田商業高等学校	2			
27		愛知県立岡崎商業高等学校	5			
28		愛知県立碧南高等学校	1			
29		愛知県豊橋商業高等学校	10			
30		岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校		32	43
31			岐阜県立大垣商業高等学校		1	
32	岐阜市立岐阜商業高等学校		1			
33	関市立関商工高等学校		9			
34	三重	三重県立津商業高等学校	4	4		
35	滋賀	滋賀県立八幡商業高等学校	3	6		
36		滋賀県立彦根翔西館高等学校	3			
37	兵庫	尼崎市立尼崎双星高等学校	1	1		
38	鳥取	鳥取県立鳥取商業高等学校	1	1		
39	岡山	岡山県立倉敷商業高等学校	8	8		
40	広島	広島県立呉商業高等学校	1	1		
41	徳島	徳島県立徳島商業高等学校	2	2		
42	愛媛	愛媛県立松山商業高等学校	2	4		
43		愛媛県立今治北高等学校	2			
44	佐賀	佐賀県立伊万里商業高等学校	1	1		
45	大分	大分県立大分商業高等学校	7	7		
46	宮崎	宮崎県立宮崎商業高等学校	3	3		
47	鹿児島	鹿児島県立川内商工高等学校	1	1		
合 計			159			

※平成27年度より実施

平成27年度 学校数35校 受賞者数 91名

平成28年度 学校数31校 受賞者数 69名

平成29年度 学校数44校 受賞者数141名

平成30年度 学校数53校 受賞者数201名

令和元年度 学校数58校 受賞者数237名

令和2年度 第12回 会計実務検定試験 申込者数・受験者数・合格者数・合格者数集計表

No.	都道府県	本部校名	試験場校数	財務諸表分析												財務会計												管理会計												合計			
				高校			一般			合計			高校			一般			合計			高校			一般			合計			高校		一般		合計								
				申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	
1	北海道	北海道旭川商業高等学校	11	185	181	133	0	0	0	185	181	133	73.5%	109	100	28	0	0	0	109	100	28	28.0%	111	102	24	1	1	0	112	103	24	23.3%	405	383	185	1	1	0	406	384	185	48.2%
2	青森	青森県立八戸商業高等学校	4	101	99	79	0	0	101	99	79	79.8%	39	38	9	0	0	0	39	38	9	23.7%	11	11	1	0	0	0	11	11	1	9.1%	151	148	89	0	0	0	151	148	89	60.1%	
3	岩手	岩手県立盛岡商業高等学校	1	2	2	1	0	0	2	2	1	50.0%	2	2	0	0	0	2	2	0	0.0%	1	1	0	0.0%	1	1	0	1	1	0	0.0%	5	5	1	0	0	0	5	5	1	20.0%	
4	宮城	仙台市立仙台南商業高等学校	1	22	21	16	0	0	22	21	16	76.2%	5	5	4	0	0	0	5	5	4	80.0%	12	11	2	0	0	0	12	11	2	18.2%	39	37	22	0	0	0	39	37	22	59.5%	
5	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	3	70	65	37	0	0	70	65	37	56.9%	87	77	3	0	0	0	87	77	3	3.9%	97	88	7	0	0	0	97	88	7	8.0%	254	230	47	0	0	0	254	230	47	20.4%	
6	山形	山形県立新庄南高等学校	2	1	1	1	0	0	1	1	1	100.0%	1	1	1	0	0	0	1	1	1	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2	2	0	0	0	2	2	0	100.0%		
7	福島	福島県立若松商業高等学校	5	44	39	28	0	0	44	39	28	71.8%	36	35	8	0	0	0	36	35	8	22.9%	11	10	2	0	0	0	11	10	2	20.0%	91	84	38	0	0	0	91	84	38	45.2%	
8	茨城	茨城県立立花商業高等学校	6	66	61	44	0	0	66	61	44	72.1%	59	58	8	0	0	0	59	58	8	13.8%	59	58	2	0	0	0	59	58	2	3.4%	184	177	54	0	0	0	184	177	54	30.5%	
9	栃木	栃木県立宇都宮商業高等学校	5	200	195	148	0	0	200	195	148	75.9%	153	148	44	0	0	0	153	148	44	29.7%	84	84	24	0	0	0	84	84	24	28.6%	437	427	216	0	0	0	437	427	216	50.6%	
10	群馬	群馬県立前橋商業高等学校	4	79	78	57	0	0	79	78	57	73.1%	66	65	26	0	0	0	66	65	26	40.0%	32	32	2	0	0	0	32	32	2	6.3%	177	175	85	0	0	0	177	175	85	48.6%	
11	埼玉	埼玉県立深谷商業高等学校	4	46	42	28	0	0	46	42	28	66.7%	18	15	3	0	0	0	18	15	3	20.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	64	57	31	0	0	0	64	57	31	54.4%	
12	千葉	千葉県立増穂商業高等学校	4	32	32	28	0	0	32	32	28	87.5%	33	31	11	0	0	0	33	31	11	35.5%	9	9	6	0	0	0	9	9	6	66.7%	74	72	45	0	0	0	74	72	45	62.5%	
13	山梨	山梨県立増穂商業高等学校	2	49	47	27	0	0	49	47	27	57.4%	50	49	11	0	0	0	50	49	11	22.4%	13	13	1	0	0	0	13	13	1	7.7%	112	109	39	0	0	0	112	109	39	35.8%	
14	東京	東京都立芝商業高等学校	3	24	22	10	0	0	25	22	10	45.5%	19	18	3	0	0	0	19	18	3	16.7%	3	3	1	0	0	0	3	3	1	33.3%	46	43	14	1	0	0	47	43	14	32.6%	
15	神奈川	横浜市立横浜商業高等学校	2	2	2	2	0	0	2	2	2	100.0%	2	2	0	0	0	2	2	0	0.0%	8	8	0	0	0	0	8	8	0	0.0%	12	12	2	0	0	0	12	12	2	16.7%		
16	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	1	45	42	29	0	0	45	42	29	69.0%	15	15	5	0	0	0	15	15	5	33.3%	19	19	4	0	0	0	19	19	4	21.1%	79	76	38	0	0	0	79	76	38	50.0%	
17	富山	富山県立高岡商業高等学校	2	9	9	9	0	0	9	9	9	100.0%	6	6	2	0	0	0	6	6	2	33.3%	1	1	1	0	0	0	1	1	1	100.0%	16	16	12	0	0	0	16	16	12	75.0%	
18	石川	石川県立金沢商業高等学校	2	31	31	27	0	0	31	31	27	87.1%	31	31	12	0	0	0	31	31	12	38.7%	27	27	5	0	0	0	27	27	5	18.5%	89	89	44	0	0	0	89	89	44	49.4%	
19	福井	福井県立福井商業高等学校	3	58	58	33	0	0	58	58	33	56.9%	66	66	10	0	0	0	66	66	10	15.2%	6	6	1	0	0	0	6	6	1	16.7%	130	130	44	0	0	0	130	130	44	33.8%	
20	長野	長野県長野商業高等学校	2	16	15	9	0	0	16	15	9	60.0%	19	15	2	0	0	0	19	15	2	13.3%	2	1	0	0	0	2	1	0	0.0%	37	31	11	0	0	0	37	31	11	35.5%		
21	静岡	静岡県立島田商業高等学校	9	94	91	71	0	0	94	91	71	78.0%	53	49	13	0	0	0	53	49	13	26.5%	83	82	19	0	0	0	83	82	19	23.2%	230	222	103	0	0	0	230	222	103	46.4%	
22	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	12	366	362	271	0	0	366	362	271	74.9%	295	288	94	0	0	0	295	288	94	32.6%	199	192	42	0	0	0	199	192	42	21.9%	860	842	407	0	0	0	860	842	407	48.3%	
23	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	8	247	232	169	0	0	247	232	169	72.8%	136	131	76	0	0	0	136	131	76	58.0%	118	114	35	0	0	0	118	114	35	30.7%	501	477	280	0	0	0	501	477	280	58.7%	
24	三重	三重県立津商業高等学校	3	62	62	52	0	0	62	62	52	83.9%	63	63	15	0	0	0	63	63	15	23.8%	10	10	4	0	0	0	10	10	4	40.0%	135	135	71	0	0	0	135	135	71	52.6%	
25	滋賀	滋賀県立彦根商業高等学校	3	50	50	48	0	0	50	50	48	96.0%	23	23	15	0	0	0	23	23	15	65.2%	11	11	8	0	0	0	11	11	8	72.7%	84	84	71	0	0	0	84	84	71	84.5%	
26	京都	京都府立京都才塾高等学校	2	31	31	28	0	0	31	31	28	90.3%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	31	31	28	0	0	0	31	31	28	90.3%		
27	大阪	大阪ビジネスカレッジ専門学校	3	30	29	12	1	1	31	30	13	43.3%	21	20	3	1	1	0	22	21	3	14.3%	21	14	1	2	2	1	23	16	2	12.5%	72	63	16	4	4	2	76	67	18	26.9%	
28	兵庫	兵庫県立姫路商業高等学校	6	213	199	113	0	0	213	199	113	56.8%	94	77	15	0	0	0	94	77	15	19.5%	18	17	3	0	0	0	18	17	3	17.6%	325	293	131	0	0	0	325	293	131	44.7%	
29	奈良	奈良県立奈良商業高等学校	3	9	6	5	0	0	9	6	5	83.3%	12	11	1	0	0	0	12	11	1	9.1%	2	1	0	0	0	2	1	0	0.0%	23	18	6	0	0	0	23	18	6	33.3%		
30	和歌山	和歌山県立和歌山商業高等学校	2	17	15	10	0	0	17	15	10	66.7%	11	10	2	0	0	0	11	10	2	20.0%	20	18	2	0	0	0	20	18	2	11.1%	48	43	14	0	0	0	48	43	14	32.6%	
31	鳥取	鳥取県立倉吉総合商業高等学校	2	8	6	6	0	0	8	6	6	100.0%	1	1	1	0	0	0	1	1	1	100.0%	1	1	1	0	0	0	1	1	1	100.0%	10	8	8	0	0	0	10	8	8	100.0%	
32	島根	島根県立松江商業高等学校	1	37	31	24	0	0	37	31	24	77.4%	8	8	2	0	0	0	8	8	2	25.0%	1	1	0	0	0	1	1	0	0.0%	46	40	26	0	0	0	46	40	26	65.0%		
33	岡山	岡山県立岡山商業高等学校	9	132	123	90	0	0	132	123	90	73.2%	34	33	14	0	0	0	34	33	14	42.4%	39	39	5	0	0	0	39	39	5	12.8%	205	195	109	0	0	0	205	195	109	55.9%	
34	広島	広島県立広島商業高等学校	3	146	134	65	0	0	146	134	65	48.5%	33	32	2	0	0	0	33	32	2	6.3%	9	7	2	0	0	0	9	7	2	28.6%	188	173	69	0	0	0	188	173	69	39.9%	
35	山口	山口県立岩国商業高等学校	4	59	58	40	0	0	59	58	40	69.0%	37	35	7	0	0	0	37	35	7	20.0%	1	0	0	0	0	0	1	0	0	-	97	93	47	0	0	0	97	93	47	50.5%	
36	香川	香川県立高松商業高等学校	1	29	25	21	0	0	29	25	21	84.0%	24	23	9	0	0	0	24	23	9	39.1%	2	2	0	0	0	2	2	0	0.0%	55	50	30	0	0	0	55	50	30	60.0%		
37	徳島	徳島県立徳島商業高等学校	2	62	59	34	0	0	62	59	34	57.6%	7	6	1	0	0	0	7	6	1	16.7%	10	10	1	0	0	0	10	10	1	10.0%	79	75	36	0	0	0	79	75	36	48.0%	
38	愛媛	愛媛県立松山商業高等学校	6	119	115	86	1	1	120	116	87	75.0%	63	61	27	0	0	0	63	61	27	44.3%	31	28	8	1	1	0	32	29	8	27.6%	213	204	121	2	2	1	215	206	122	59.2%	
39	高知	高知市立高知商業高等学校	1	3	3	1	0	0	3	3	1	33.3%	3	3	0	0	0	3	3	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	6	6	1	0	0	0	6	6	1	16.7%		
40	福岡	福岡県立若松商業高等学校																																									